



# 第77期中間 株主通信

2021年4月1日～2021年9月30日



O R G A N O

**オルガノ株式会社**

証券コード：6368

## 経営理念

オルガノは  
水で培った先端技術を駆使して  
未来をつくる産業と  
社会基盤の発展に貢献する  
パートナー企業としてあり続けます

## 長期経営ビジョン

- 付加価値の高い分離精製・分析・製造技術を基に  
事業領域と展開地域を拡大し、  
産業と社会の価値創造と課題解決  
を推進する製品・サービスを  
絶えず提供します。
- 昨日までのやり方を、  
明日に向けて、  
今日変える人をつくり、  
一人ひとりが働きがいと  
活力に満ちた企業を構築します。

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第77期事業年度上期(2021年4月1日～2021年9月30日)の概況をご報告申し上げます。

当上期の当社グループの市場環境は、電子産業分野で世界的な半導体不足に加え、米中貿易摩擦を契機とした半導体国産化など半導体サプライチェーン再構築の動きを受け、国内外で旺盛な投資・生産が見られました。一般産業分野ではコロナ禍や半導体不足の影響を受けた産業において生産活動の抑制が継続したものの、前年同期に比べ回復の兆しが見られました。

業績につきましては国内外の活発な半導体設備投資の影響を受け、受注高は前年同期比大幅増となりました。売上高も電子産業分野における国内外の大型プロジェクトの工事が順調に進捗し、前年同期比増収となりました。利益面においても国内外の電子産業分野の売上拡大、機能商品事業での比較的付加価値の高い製品群の売上伸長による利益率改善が奏功し、前年同期比増益となりました。

当期の中間配当金につきましては好調な業績を反映させ、前中間期からは20円、前期末からは10円増配の、1株当たり72円といたしました(期末配当予想72円/株、年間配当予想144円/株)。

近年、資源の有効活用、環境負荷低減などの社会課題解決と顧客のニーズの結びつきがより深まってきており、当社技術の深化による社会的価値の追求が顧客価値の実現にも貢献できると考えております。今後も長期的な視点に立ち、人材育成、技術・サービスの開発を継続していくことで、当社グループの事業の持続的な成長を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2021年12月

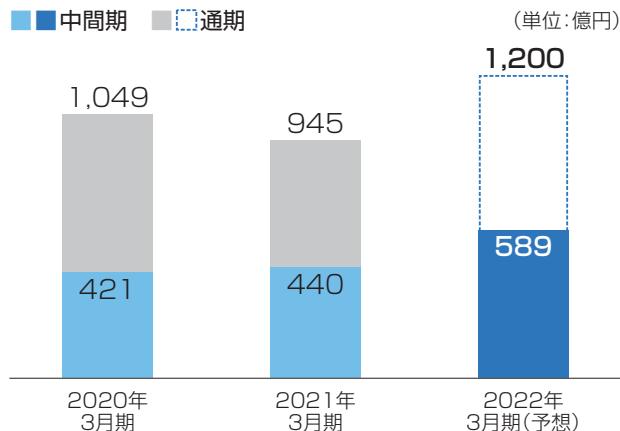


代表取締役社長 社長執行役員

内倉昌樹

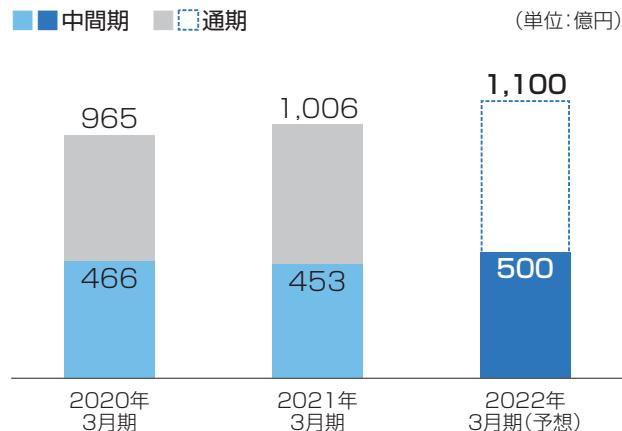
## 受注高

**589** 億円 前年同期比 **33.7%** 増



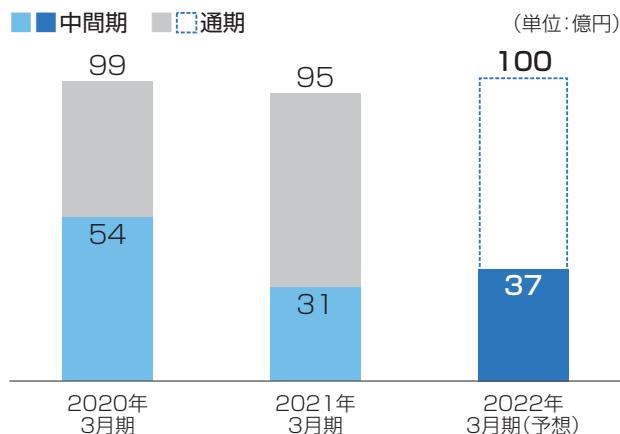
## 売上高

**500** 億円 前年同期比 **10.3%** 増



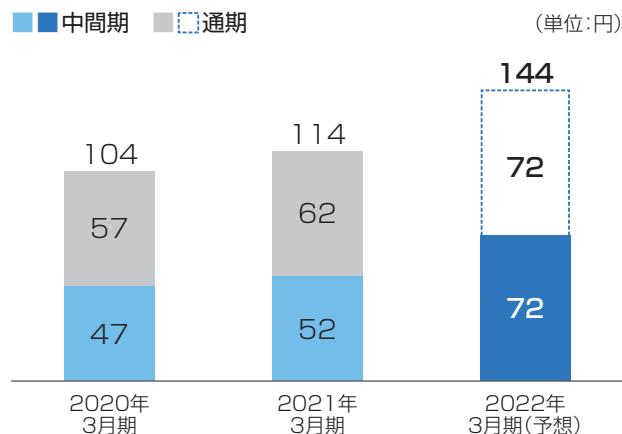
## 営業利益

**37** 億円 前年同期比 **18.5%** 増



## 1株当たり配当金

**72** 円 **+20** 円 (前年同期は52円)





# 2022年3月期通期業績予想を上方修正

(単位:億円)

	前期実績	期初計画	修正予想		
	金額	金額	金額	前期比 (%)	期初計画比 (%)
受注高	945	1,000	1,200	+26.9	+20.0
売上高	1,006	1,030	1,100	+9.3	+6.8
営業利益	95	82	100	+4.4	+21.2
経常利益	99	81	103	+4.0	+26.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	70	65	82	+15.9	+26.2

## 見通し

### 2022年3月期通期業績は、受注・売上・利益ともに過去最高の更新を見込む

#### ●受注高

日本・台湾・中国及び米国において電子産業分野の新規大型投資が活発に推移していることから1,200億円を見込む

#### ●売上高

電子産業分野の売上拡大や機能商品分野の販売伸長により1,100億円を見込む

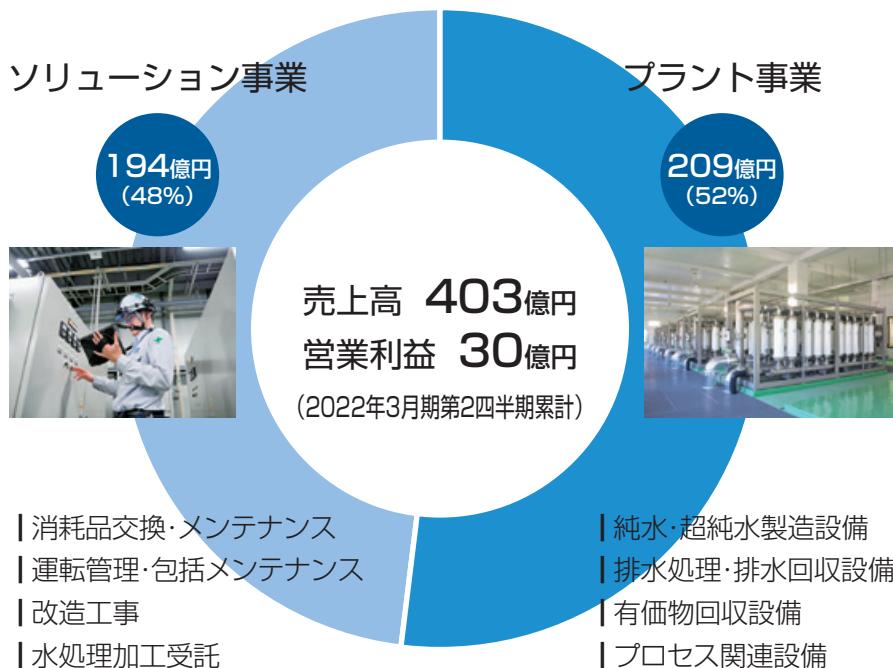
#### ●営業利益

増収効果に加えて、コロナ禍の長期化により販管費が期初計画を下回る見通しであることから100億円を見込む



# セグメント別の概況

## 水処理エンジニアリング事業



売上高は一般産業分野で国内のソリューション事業が堅調に推移したことに加え、前期までに受注した電子産業分野の国内外の大型案件及び電力・上下水分野の大型案件の工事が順調に進捗したことから、増収となりました。利益面では、電子産業分野を中心とした日本・台湾・中国での大型案件工事の進捗が売上拡大に寄与し、増益となりました。

電子産業分野

売上高 **253**億円

- ・半導体
- ・FPD
- ・電子部品

電力・上下水分野

売上高 **37**億円

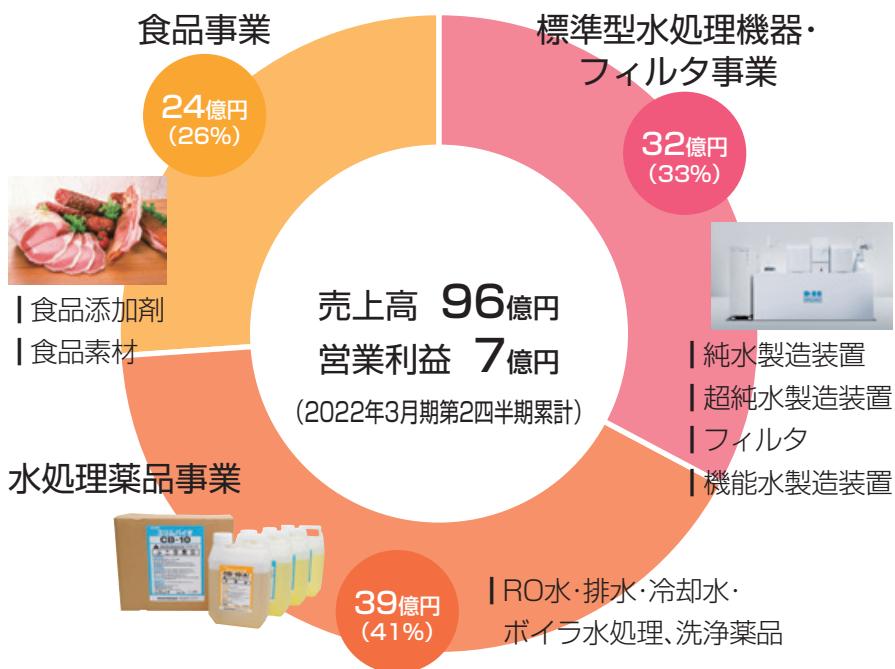
- ・発電所
- ・浄水場
- ・下水処理場

一般産業分野

売上高 **112**億円

- ・医薬品／化粧品
- ・食品／飲料
- ・機械／素材／化学

## 機能商品事業



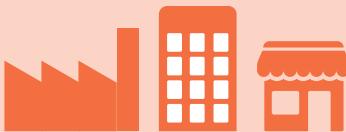
売上高は電子産業向けの各種水処理薬品の販売が好調に推移し、医療機関向け小型純水装置や飲料用フィルタの売上が回復したことなどにより、増収となりました。利益面では売上が回復したことに加え、利益率の高い製品群の売上が伸長したことなどにより、増益となりました。

### 標準型水処理機器・フィルタ事業



- ・研究所／医療機関
- ・各種工場
- ・飲食店／コンビニ

### 水処理薬品事業



- ・各種工場
- ・ビル
- ・商業施設

### 食品事業

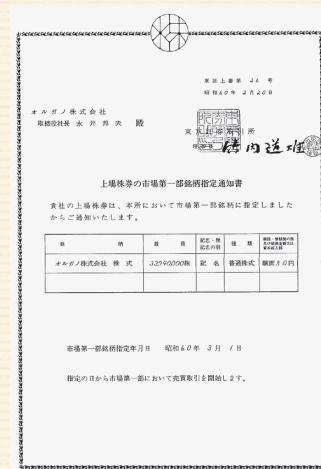


- ・食品加工
- ・飲料製造
- ・介護食／健康食品

● 東証株式市場上場60周年の節目に株式市場新区分プライム市場を選択

1961年10月に東証市場第二部が開設されたことにより、当社は東証市場第二部に上場いたしました。今年で上場60周年となります。二部上場時の資本金は4億円でした。その後、事業規模拡大に伴う資金調達や一部上場を目的に増資を実施し、1984年には資本金20億円としました。業績も伸長し、1985年3月に市場第一部へ指定替えとなりました。

また2022年4月には東証株式市場区分の変更が予定されております。当社は最上位市場であるプライム市場の上場基準全てを満たすことを確認し、プライム市場に移行することを選択いたしました。プライム市場上場企業に対しては、高いガバナンスやサステナビリティ課題への取組みが求められております。多様な視点や価値観を備えた社会に存在価値を認められる企業を目指し、これらの課題に取り組んでまいります。



上段：市場第二部上場時代に発行された株券  
 下段：上場当時東京証券取引所にて使用されていた「立会開始の鐘」  
 資料提供：株式会社日本取引所グループ

市場第一部銘柄指定通知書  
 (1985年)

### ● 「JPX日経中小型株指数」構成銘柄に選定

この度当社は株価の値動きを示す株価指数の1つ「JPX日経中小型株指数」(2021年8月31日から1年間)の構成銘柄に選定されました。構成銘柄には時価総額が中小規模の東証上場企業の中から、高い収益性や投資家の視点に立った経営を行うなど世界的な投資基準で求められる諸要件を満たした上位200社が選定されます。この株価指数に選定されたことは当社が「投資者にとって投資魅力の高い会社」であることを示しております。構成銘柄への選定が継続できますよう、今後も資本の効率的な活用や企業情報発信の充実に取り組んでまいります。



資料提供: 株式会社日本取引所グループ

### ● 米国に海外子会社Organo USA, Inc.設立

米国では経済安全保障の観点から半導体の国内生産体制を再構築するために、複数の大型半導体製造工場の新設が公表されております。米国での半導体製造に必要な水処理設備などの需要が期待されることから、当社は9月に米国現地子会社を設立いたしました。活動拠点となる事業所をアリゾナ州フェニックスに設置し、顧客に密着した水処理設備やソリューションサービスの提供を主体とするビジネスを展開いたします。今後米国においても当社の高度な水処理技術を用いて最先端の半導体製造に貢献するとともに、当社事業の拡大に努めてまいります。



## 連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	前期末 (2021年3月31日現在)	当第2四半期末 (2021年9月30日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	89,702	<b>86,922</b>
固定資産	25,308	<b>26,095</b>
有形固定資産	18,974	<b>19,632</b>
無形固定資産	1,105	<b>1,114</b>
投資その他の資産	5,228	<b>5,347</b>
資産合計	115,011	<b>113,017</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	40,749	<b>36,119</b>
固定負債	6,905	<b>6,892</b>
負債合計	47,654	<b>43,012</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	67,139	<b>69,281</b>
資本金	8,225	<b>8,225</b>
資本剰余金	7,508	<b>7,508</b>
利益剰余金	51,902	<b>53,933</b>
自己株式	△ 495	<b>△ 385</b>
その他の包括利益累計額	74	<b>571</b>
非支配株主持分	143	<b>152</b>
純資産合計	67,357	<b>70,005</b>
負債純資産合計	115,011	<b>113,017</b>

### ● 資産の部

売上債権及び契約資産は増加したものの、現金及び預金の減少などにより1,994百万円減少しました。

### ● 負債の部

仕入債務及び短期借入金の減少などにより4,642百万円減少しました。

### ● 純資産の部

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加などにより2,647百万円増加しました。

### ● 営業活動によるキャッシュ・フロー

3,435百万円の資金流出となりました。主な資金の増加は税金等調整前四半期純利益の計上によるものであり、主な支出は売上債権及び契約資産、リース投資資産の増加によるものです。

### ● 投資活動によるキャッシュ・フロー

1,056百万円の資金流出となりました。主な支出は有形固定資産の取得によるものです。

### ● 財務活動によるキャッシュ・フロー

2,658百万円の資金流出となりました。主な支出は短期借入金の返済及び配当金の支払によるものです。

当第2四半期末の現金及び現金同等物は前期末に比べ6,635百万円減少し、6,168百万円になりました。

## 連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	前第2四半期(累計) (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	当第2四半期(累計) (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
売上高	45,322	<b>50,001</b>
売上原価	33,963	<b>37,597</b>
売上総利益	11,359	<b>12,404</b>
販売費及び一般管理費	8,176	<b>8,632</b>
営業利益	3,182	<b>3,771</b>
営業外収益	163	<b>520</b>
営業外費用	68	<b>97</b>
経常利益	3,276	<b>4,193</b>
特別利益	14	<b>34</b>
特別損失	2	<b>25</b>
税金等調整前四半期純利益	3,288	<b>4,202</b>
法人税等	1,207	<b>1,501</b>
四半期純利益	2,081	<b>2,700</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	<b>3</b>
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,080	<b>2,696</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	前第2四半期(累計) (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	当第2四半期(累計) (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,054	<b>△ 3,435</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 647	<b>△ 1,056</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,184	<b>△ 2,658</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 63	<b>199</b>
現金及び現金同等物の増減額	△ 5,580	<b>△ 6,950</b>
現金及び現金同等物の期首残高	13,772	<b>12,804</b>
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	<b>314</b>
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,192	<b>6,168</b>



# 会社概要 (2021年9月30日現在)

## 会社概要

商号	オルガノ株式会社 (英文 ORGANO CORPORATION)
本社	〒136-8631 東京都江東区新砂1丁目2番8号
創業	1946年5月1日
資本金	8,225,499,312円
従業員数	連結2,458名 (単体1,092名)
事業内容	当社は総合水処理エンジニアリング会社として、イオン交換樹脂、分離膜、活性炭等を使用する各種用排水処理装置の製造、販売、メンテナンス及び水処理アウトソーシング受託並びに各種薬品、食品加工材の販売を主な事業としております。

## 主要な事業所

開発センター	相模原
工場	つくば、いわき
支店	北海道、東北、関東、中部、関西、中国、九州

## 主要なグループ会社 (2021年12月1日現在)

連結対象子会社	
国内	海外
オルガノプラントサービス(株)	Organo(Asia)Sdn.Bhd.
オルガノフードテック(株)	奥加諾(蘇州)水処理有限公司
オルガノエコテクノ(株)	奥嘉佳瑞科技股份有限公司
オルガノアクティ(株)	Organo(Thailand)Co.,Ltd. PT Lautan Organo Water Organo(Vietnam)Co.,Ltd. Organo USA, Inc.
その他グループ会社	
国内	海外
(株)ホステック	Organo(Singapore)Pte Ltd
東北電機鉄工(株)	

## 取締役・監査役

代表取締役社長	内 倉 昌 樹
取締役	山 田 正 幸
取締役	堀 比 斗 志
取締役	中 山 泰 利
取締役	須 田 信 良
取締役	本 多 哲 之
社外取締役	永 井 素 夫
社外取締役	照 井 恵 光
社外取締役	平 井 憲 次
常勤監査役	豊 田 正 彦
社外監査役	樋 口 達
社外監査役	花 野 信 子

## 執行役員

社長執行役員	※ 内 倉 昌 樹
専務執行役員	※ 山 田 正 幸
常務執行役員	※ 堀 比 斗 志
常務執行役員	※ 中 山 泰 利
常務執行役員	※ 須 田 信 良
常務執行役員	福 田 和 久
常務執行役員	浅 野 伸
常務執行役員	富 沢 真
執行役員	※ 本 多 哲 之
執行役員	大 賀 克 巳
執行役員	國 枝 達 也
執行役員	島 田 健
執行役員	秋 元 英 良
執行役員	久 木 崎 誠
執行役員	小 池 省 次 郎
執行役員	吉 田 晃
執行役員	雨 宮 徹

※は取締役兼務者であります。

## 株式の状況(2021年9月30日現在)

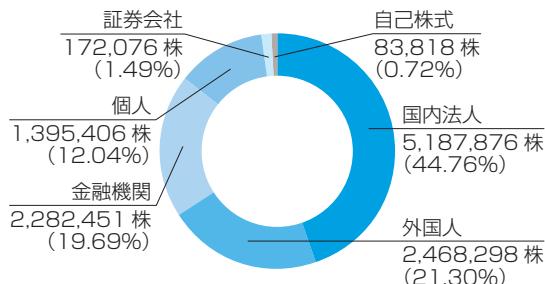
発行可能株式総数	25,392,000 株
発行済株式総数	11,589,925 株
株 主 総 数	4,486 名

## 大株主(上位10名)

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
東ソー株式会社	4,925	42.81
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	971	8.44
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	636	5.53
株式会社みずほ銀行	200	1.74
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	187	1.63
ビービーエイチ ザ アドバイザーズ インナーサークル ファンド ツール コベルニク グロ オール キャップ ファンド	162	1.42
エムエルアイ フォークライアントジェネラル オムニノンコラテラルノントリーティービービー	156	1.36
KBC BANK NV - UCITS CLIENTS NON TREATY	144	1.25
ビービーエイチ ポストン カस्टディアン フォー ビービーエイチ ティア イー アイ ヘプタゴン ファンド ビーエルシー コベル620357	115	1.00
ジェービー モルガン チェース バンク 385781	96	0.84

※持株比率は自己株式(83,818株)を控除して計算しております。

## 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会の議決権 3月31日  
期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日

単元株式数 100株

公告掲載方法 電子公告  
公告掲載URL <https://www.organo.co.jp/>  
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人及び  
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
郵便物送付先 〒168-0063  
東京都杉並区泉二丁目8番4号  
電話照会先 0120-782-031 (フリーダイヤル)

上場証券取引所 東京証券取引所(市場第一部)

## 株式に関する諸手続のお申し出先について

- 住所変更、配当金受領方法の指定、単元未満株式の買取請求及び買増請求などの株式の諸手続につきましては、お取引のある証券会社にお申し出ください。
- 証券会社に口座がないため、特別口座が開設されました株主様の株式の諸手続につきましては、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
- 未受領の配当金のお支払につきましては、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社の全国本支店(コンサルティングオフィス・コンサルプラザを除く)でお取り扱いいたします。



**オルガノ株式会社**

〒136-8631 東京都江東区新砂1-2-8 経営統括本部 経営企画部 電話 03-5635-5111  
当社ウェブサイト <https://www.organo.co.jp/>

